

令和5年度 第一中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-1

	実施方針	目標	具体的な取り組み	
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための環境を整えます。	介護予防普及啓発講座を開催し、介護予防の意識を高める。	介護予防普及啓発講座：年30回 内容：もしバナゲーム、フレイル予防、認知症予防、権利擁護、介護保険制度 等
			民生委員との連携強化を図る。	小地域ケア会議の開催：年2回 テーマ：①民生委員との連携強化 ②令和5年度の包括のチラシの内容と配布方法について
必須項目	認知症施策の推進	認知症に対する正しい理解を地域の中で深めていけるよう支援していきます。	さくら応援隊が継続して活動できるよう支援を行う。	サポーター連絡会への出席：年12回
			様々な世代の認知症サポーターを養成する。	認知症サポーター養成講座の開催：年5回
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	多職種、多機関との連携を強化し、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指します。	地域の人やその家族の社会参加を支援していく。	チームオレンジしまいち連絡会：年4回 多機関と協働したとオレンジカフェ開催：随時
			地域の企業に地域課題を発信し、高齢者の見守り体制の強化を図る。	第一地区高齢者見守りあんしんネットワーク会議の開催：年1回 第一地区高齢者見守りあんしんネットワーク通信の配布：年2回 配布先：ネットワーク参加事業所
選択項目	センターの認知度を高めるための周知活動	地域住民にとって身近な相談窓口になれるよう、周知活動を行っていきます。	医療・ケアを提供する専門職の会を定期的を開催する。	ケアカフェ：年4回 内容：企画は当番制 参加者：医師、薬剤師、ケアマネ、介護事業所、医療介護連携室、行政 等
			地域資源の開発のため、福祉機関との連携を強化する。	小地域ケア会議の開催：年2回 テーマ：福祉事業所の地域貢献への支援
選択項目	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化を図り、広い視野をもったケアマネジメントが行えるよう支援していきます。	積極的に地域に出向いて周知を行う。	神座・相賀地区出張相談会開催：年2回 ヒバリヤでのイベントに参加：随時 伊太区駄菓子屋での出張相談会開催：年1回 とくし丸に同行し、高齢者の声を拾う：随時
			民生委員と共同制作した包括のチラシを有効活用する。	チラシの配布 配布先：開業医、処方箋薬局、公共施設 等
選択項目	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化を図り、広い視野をもったケアマネジメントが行えるよう支援していきます。	介護予防普及啓発講座で高齢者団体への周知を行う。	講座の開催時に、包括のチラシを配布する
			インフォーマルサービスが適切に活用できるよう研修や事例検討等を行う。	ケアマネ連絡会：年3回 困難事例検討会：年2回 ケアマネ研修会：年1回
選択項目	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化を図り、広い視野をもったケアマネジメントが行えるよう支援していきます。	介護支援専門員の地域ケア会議の活用を推進していく。	個別地域ケア会議の開催：随時